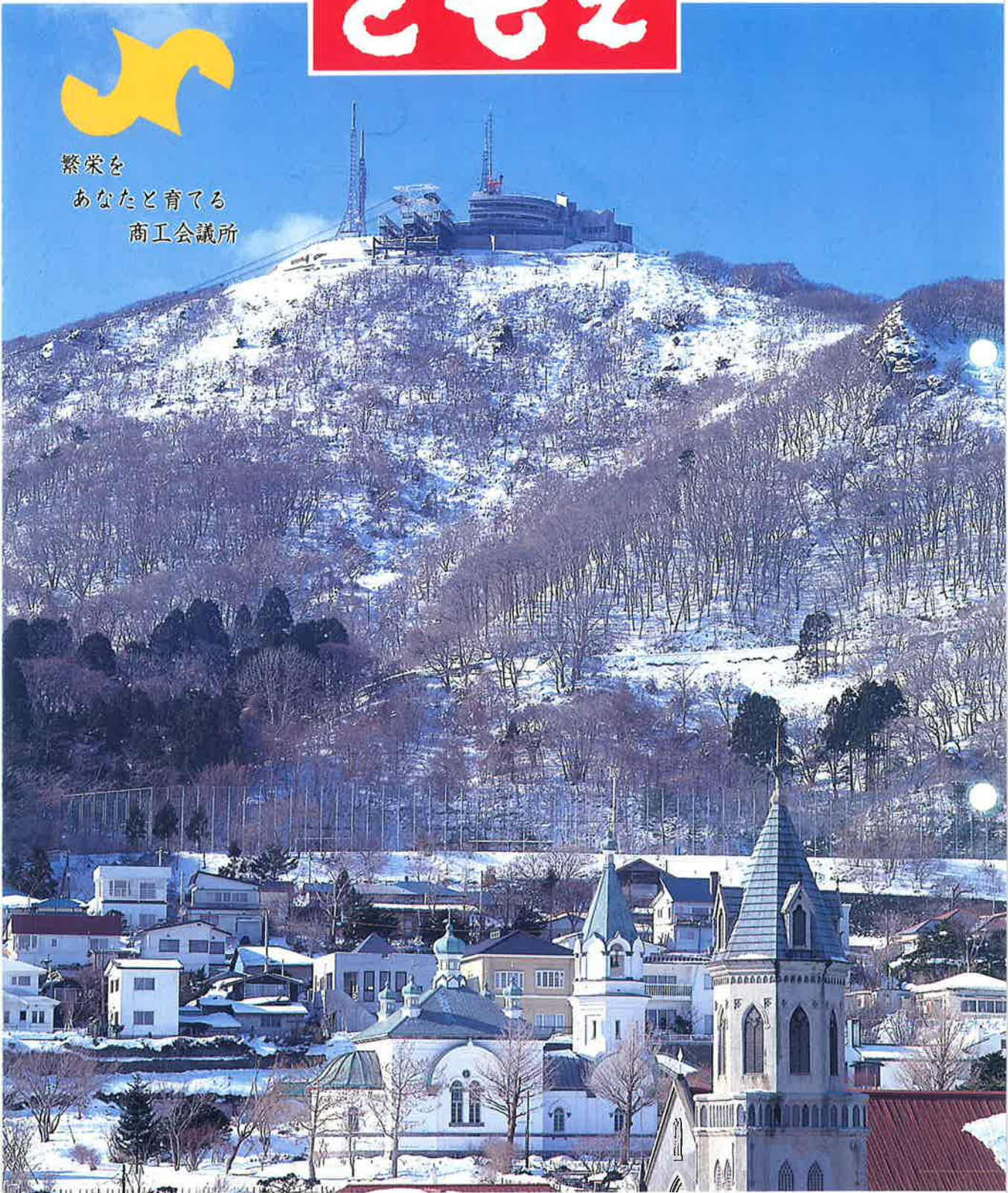


昭和55年8月26日第三種郵便物認可 平成5年1月10日発行(毎月1回10日発行)

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



No. 137

■ 函館商工会議所報 ■

1993 新年号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

Lhくみカードローン

20万円から200万円まで

使い方自由

らくらく返済

担保・保証人不要

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ 新年号(通巻137号) 目次

今月の表紙／視点	1
年頭所感	2～3
函館商工会議所 会頭 若林利次	
日本商工会議所 会頭 石川六郎	
会議所の動き	4～9
・ 第四回臨時議員総会開催	
・ 優良商工従業員表彰式を挙行	
・ テクノポリス基金に係る本所六部会開催	
・ 本年の見直しに向け新幹線陳情活発化	
・ 青森・函館ツインシティ推進協開催	
・ 青函圏特別委員会合同委員会開催	
新春誌上名刺交換	10～17
函館・鹿児島会議所姉妹提携記念対談	18～23
「函館・鹿児島両会頭	
今後の飛躍に向けて語る」	
対談者 鹿児島商工会議所会頭 岩崎福三氏	
函館商工会議所会頭 若林利次	
特別寄稿	24～25
・ 十二支物語 西	
・ 成人おめでとう	
調査レポート	26～35
・ 地域の景気 金融経済概況	十月 十月
・ 市内第一種大規模小売店舗売上高	十月 十月
・ モデル条件別賃金調査速報	
・ 函館地域における景気動向	平成四年度 第一・四半期
アドバイスコナー	36～37
・ 借地・借家法の基礎知識	(4)
Q & A	38～39
共済推進コーナー	
・ 函館商工会議所「四共済制度」案内	
ティータム	42 41
ご案内	

◆今月の表紙

函館西部地区(冬景色)

函館の街を歩くと、歴史の余韻を残す数多くの遺産や、外国文化の影響を色濃く偲ばせる風景、そして異国情緒あふれる風景に出会うことができる。

特に函館山の裾野一带に広がる西部地区は、早くから異国文化の洗礼を受けて栄えた場所として知られており、当時の面影を最もよく伝えている。

その史跡や歴史的建築物の多くが、明治・大正時代に造られたものであり、しよしやな白壁、優美なルネッサンス風のまた、重厚なゴシック様式が、東洋と西洋を混在させた微妙な街の表情をつくりあげている。

視点

新年明けましておめでとうございます。

厳しい経済情勢のもとで、平成五年の正月を迎えました。日本経済は、現在調整過程にあるといわれていますが、企業の景況感が回復を示すまでには、なお暫くの時日が必要となります。

このような厳しい情勢の元で、函館はよく健闘していると云えましょう。昨年の目玉は何といつても国際姉妹都市提携などの国際交流が、大きな第一歩を示したことです。

今年は、これらの提携を有効に機能させるための大切な年であり、経済・文化などの交流をどのように進めていくか、それぞれの立場でよく考え、前向きに努力を重ねていく必要があります。また、昨年十一月には、函館とサハリン州エジノサハリンスクとの国際定期航空路線が決定し、準備が整えば明年四月には、国際定期便の第一便が就航します。

一方、長く運動を続けてきた北海道新幹線の着工という地元の要望が、実現できるかどうか決定されるのも今年です。夏頃といわれるその決定時期に向けて、東北地方の方々と力を合わせ、北日本の次なる発展のために、地域をあげて総力を結集し、着工実現をはからねばなりません。

この外、青函インターロック交流圏構想の推進、第二期テクノポリス函館計画の実現、函館港の整備、国立大学の設置、駅前・十字街地区の再開発など多くの課題を推進していく必要があります。今年も忙しい年になりそうです。会員各位のより一層のご協力をお願いいたします。

年頭所感



函館商工会議所

会頭 若林利次

平成五年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、ソ連邦崩壊の余波が世界各地に多くの歪を残し、その歪の修正に国連が大きく動きだした年であり、国連そのものの存在価値が見直された年でもありました。また、世界経済におきましては、アジア諸国で高めの成長がみられた外は、総じて停滞基調を脱しきれず、全体としてはかなり重い足取りであったといえましょう。

このような世界の動きの中で、依然として景気調整の続く我国経済については低金利政策効果の浸透、ストック調整圧力の緩和など、景気底入れに向けた諸条件が徐々に整えられる中で、昨年十二月には十兆七千億にも及ぶ総合経済対策が実行に移され、今春にはその効果も加わり、年後半には景気は全体として回復方向に転ずるものと、期待されておることはご存じのとおりであります。しかし内需や外需に多くを期待できない状況下に置かれていることも事実であり、回復へ向かうとしても、当面ごく緩やかなものとしか考えられず、企業の景況感が上昇に転ずるには、なおしばらくの月日が必要であると思われれます。

このような状況の中で、当地域におきましては、観光入込客数もほぼ前年並を維持することができ、また昨年以上に健闘した企業も見られ、全体としての経済活動はなお減速していますが、厳しい経済環境の中で、地域としては善戦した年であったといえるのではないのでしょうか。

また、昨年は市制施行七十周年ということで、数多くの行催事が行われましたが、その中でも、国際提携、国際交流事業が多く、日本海峽フォーラムに合わせた国際友好都市サミット、そしてウラジオストク市、レックマコーリー市との国際姉妹都市提携、さらに、シンガポール政府観光局と函館観光協会の姉妹提携等がありました。また外国よりの来客も多く、マレイシア国首相を始め、アメリカ、

中国、フランスなど各国より沢山の来客がありました。本年は、国際姉妹都市を中心に、具体的な経済交流の実現に向け努力を重ねて参りたいと存じます。

函館の将来にとって、大きな役割を果たすべき三つの重要な課題、即ち新幹線の青函同時開業、青函インターロック交流圏構想の実現、新函館港港湾計画の実施については、具体的な進行も見られる中で、特に、本年夏頃に予定されている政府、自由民主党との整備新幹線の取扱いに関する申し合わせの見直しについては、函館駅周辺地域地区更新基本計画の進行も早まる事が予想されます。さらに、西部地区の重要な観光拠点となるべき十字街地区の地区更新基本計画も、三月には策定を終了し、新しい十字街商店街の姿も見えてくることでしょう。

一方、第二期テクノポリス函館計画も実行の段階に入り、厳しい情勢の中ではありますが、カーボンシティを目指した諸施策などの新しい分野を含め、研究、開発、そして事業化計画により、新製品の開発も進み、地元企業の技術水準も大きく向上することでしょう。

地域における本年最大の課題は、なんと言っても北海道新幹線の着工実現です。高速自動車道は今世紀函館乗入れは無理で、当分の間、高速交通機関としては、航空路一本に頼らざるを得ない状況からして、第二の高速交通機関としての新幹線鉄道は絶対に必要と考えるものであり、この新幹線の実現は、日本列島で最大の開発可能性をもつ北海道に対して、多大の効果をもたらすことが、関係方面よりの報告で明らかになっているところであります。そこで東北新幹線の青森までの早期竣工とあわせ、青函トンネルを活用し、当面青森、函館の同時開業を実現すべく、全力をもって対応して参る所存であります。

このような状況の下で、函館商工会議所といたしましては、昨年同様

- 一 青函インターロック交流圏構想の推進
- 二 高速交通体系の確立と函館港の整備促進
- 三 第二期テクノポリス函館計画と企業誘致の推進
- 四 地元中小企業対策と観光資源の整備推進
- 五 人材の確保と育成

を柱として努力を傾注して参りたいと存じます。

特に難しい経済情勢が続く中で、商工会議所としての体制、組織を強化するとともに、本所定款第七条第一項に基づく商工会議所の事業として、進んで商工会議所としての意見を公表するなど、政策提言活動の活発な展開を進め、一方で、市内経済団体の早期統合も推進して参りたい所存であります。

以上所信の一端を申し述べ、より一層の会員皆様方のご支援、ご協力をお願い致しまして、私の新年のご挨拶といたします。

年頭所感



日本商工会議所

会頭 石川 六郎

年頭にあたり、新春のお慶びを申しあげ、会員の皆様のご健康とご繁栄をお祈り申しあげます。

さて、冷戦時代の終焉を迎えた今、世界は新たな国際秩序の構築に向け、産みの苦しみを経験しております。核戦争の脅威こそ減ったものの、民族・地域紛争はかえって増加しており、また、旧ソ連・東欧の市場経済化の行方も定かでない、一方、地域統合の進展を背景に世界経済のブロック化を懸念する声が高まっております。さらに、南北問題や地球環境問題など地球規模の課題も顕在化しております。

米国では、新年早々、「強いアメリカ」を標榜するクリントン政権が誕生しますが、これがわが国外交の機軸である日米関係に今後どのような影響を及ぼすか予断を許さないものがあります。

このような状況の中で、わが国は、自由と民主主義及び市場経済の原理にもとづいた新たな国際秩序の確立を目指し、国際社会の中で主導的役割を担うことが期待されております。そのためには、まず自らが、たとえ多少の痛みを伴っても、わが国固有の諸制度の透明化・公正化をはかる一方で、グローバルな視点に立ち、ウルグアイ・ラウンドの成功に向けて努力するとともに、地球環境・難民問題への貢献、PKOへの積極参加、ODAの質的充実、重点的配分などに積極的に取り組むべきであります。

内に目を転じますと、現下の最大課題は不況の克服であります。今やわが国経済の停滞は単に自国の問題にとどまらず、世界経済の発展にも大きな影響を及ぼすものとなっております。日商では、昨年、私が直接、宮沢総理に景気対策の早期実施を度々要望するなど積極的な活動を展開し、八月の総合経済対策には我々の要望が相当生かされましたが、残念ながら景気の先行きには未だ明るい展望が開けておりません。政府は状況によっては所得税減税、買い換え特別を含めた住宅対策など第二、第三の追加対策を、時期を失せず果敢に実行すべきであります。その際重要なのは、経済政策の方向が、国民が明るい希望と展望を持つことができるようにならなくてはなりません。我々企業も経営の真価が問われる今こそ、将来展望をもった事業の展開が必要であり、

この苦境の打開に向けて全力を傾ける必要があります。申すまでもなく、我々の組織は圧倒的多数の中小企業によって支えられております。今、多くの中小企業は、不況にあえぎながら、その一方で労働力の確保、時短の推進、後継者の育成などいわば構造的課題にも直面しております。中小企業が抱えているこれらの課題を克服し、本来の豊かな創造性と活力を発揮できるように環境を整備することこそ商工会議所に課せられた最も大きな使命であることを痛感いたしております。

ところで、政界をめぐる度重なる不祥事は国民の政治不信を招き、経済活動にも影響しかねず、政治改革は正に「待ったなし」となっております。山積する課題に政治の強いグリーンシップが求められている時だけに、与野党とも党利党略を排し、金のかからない政治を実現するための選挙制度改革をはじめ民主主義の基本である一票の格差の是正、政治資金の透明性確保、改革に対する公的助成の導入など、抜本的な改革に取り組み、着実な成果を国民に示すべきであります。

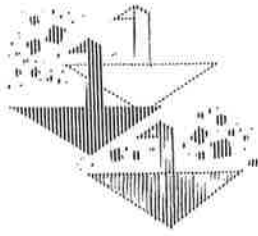
さて、ご案内のとおり日商は民間外交としての国際活動の推進に努力しております。欧米諸国への大型経済ミッションの派遣に続き、昨年はASEAN各国を訪問し、多くの成果をあげました。今年五月には天皇陛下のご訪問を終えた中国へミッションを派遣いたしました。ロシアについても、極東地方の中小企業との交流などに着手しておりますが、今後とも両国の政治情勢などを勘案しながら対処していく所存であります。世界各地の商工会議所とは協力協定を積極的に締結するなど交流拡大に努めておりますが、世界各国から日商を訪れる政府・経済界の要人はますます増加しており、わが国ならびに日商に対する期待の大きさを改めて痛感しております。

また、現在わが国は高齢化が急速に進展しており、二十一世紀に向けて国民負担率の増加は避けられない方向とみられます。従って、まだ比較的余裕のあるこの時期に、一極集中を是正し、国土の均衡ある発展と地域の活性化を促進することは喫緊の課題であります。そのためには国から地方への権限・財源の委譲を急ぐ一方、自治体機能の強化を図り、交通・通信・文化施設などのインフラ整備を進め、若者が地域に定着できる環境づくりを推進する必要があると見ます。商工会議所としても、それぞれの特性を活かした地域づくりに指導力を一層発揮していきたいと考えています。

なお、人類社会に暗い影を投げかける不治の病「エイズ」は何としても早い段階でその蔓延を食い止めなければなりません。このため昨年は東商・日商が他に先駆けて普及啓発活動を開始いたしました。この病をわが国社会にこれ以上浸透させないよう今年も更に活動の輪を拡げてまいり所存であります。内外情勢に不透明感が増すほど、地域のリーダーたる商工会議所の先導的役割は高まっております。我々は全国五百八カ所・百五十万会員を擁する巨大なネットワークを活かし、先見性をもって次代を切り開いていかなければなりません。折しも今秋、待望の福祉研修センター「カリアック」が浜松にオープンいたします。この新たな交流拠点をテコに所工会議所活動が更に発展することを期待する次第であります。

最後に、皆様の商工会議所活動に対するより一層のご支援とご協力をお願い申しあげ、私の新年のご挨拶といたします。

会 議 所 の 動 き



第四回臨時議員総会開催

本商工会議所第四回臨時議員総会は、去る十二月四日、函館ハーバービューホテルにおいて委任出席を含め八十八人が出席して開催されました。この総会は、十一月十三日開催の総務委員会、同十八日の第五回常議員会を経て開催されたものです。

議事に先立ち、若林会頭から「我が国の経済情勢は非常に厳しい状況下であり、その回復は来夏以降と予測されている。この難しい時代を乗り越えるのに大きな苦労



▲挨拶をする若林会頭

をされると思うが、本所の事業活動に対しても、より一層の協力をお願いしたい。とくに、

(1)平成五年八月の整備新幹線の

見直しにむけての地元要望の陳情活動の強化

(2)財テクノポリス函館技術振興協会基金への出捐金の協力方

については特別のご配慮を賜りたい」旨の挨拶があり、そのあと議事に入りました。

会議ではまず、各部会・委員会よりの報告など九案件を了承した後、附議事項の常議員及び監事の補充選任について審議され、それぞれ異議なく議決されました。主な内容は次のとおりです。

(報告事項)

一、議員、監事、顧問の異動について

二、道商連からの報告について

三、陳情・要望活動について

四、部会・委員会からの報告について

五、就業規則、事務規程の一部改

正について

(平成五年四月より第二・第四土曜日を閉所)

六、青函圏特別委員会の副委員長の委嘱について
(大角函館市亀田商工会長を委嘱)

委嘱)

七、鹿児島商工会議所との姉妹盟約について

八、新会員の加入について
九、平成四年六月から十月までの業務概要について

(附議事項)

第一号議案 常議員二人の補充選任について

第二号議案 監事一人の補充選任について

欠員となっていた常議員二人及び、監事一人の補充選任については、次の方が選任されました。

常議員。斎藤鉄男議員

共栄運輸㈱代表取締役社長
。森 迪康議員

函館信用金庫理事長
監事。末武功百殿

函館エヌ・デー・ケー㈱
常務取締役支配人

優良商工従業員表彰式を挙

208名が晴れの受彰

本所主催の第三十四回「優良商工従業員表彰式」が、去る十一月二十四日午後三時より、駅前拓銀ビル八階ホールにおいて開催されました。

本所では、労務管理対策事業の一環として、会員事業所に永年勤務し、且つ、勤務成績が特に優良と



▲盛大に挙行された優良商工従業員表彰式

認められる従業員を毎年表彰しており、今回は、六十三事業所より推せんの二百八名の方々が受彰されました。

式典には、函館市長、函館市議会議長、渡島支庁長など多数の来賓、および事業主の出席のもとで挙行され、始めに主催者を代表して若林会頭から、「本日表彰を受けられる皆様は、職場の違いこそあれ、自らの職責を十分に認識し、永年企業の発展に努力され、ひいては地域経済の発展に貢献された方々です。本日の受彰を契機に、明日への活力を高め、今後とも企業の繁栄に努力され、住みよい、豊かな郷土『函館』を築いていただきたい」との挨拶がなされた後、受彰者に表彰状と記念品を贈り、永年の努力を讃えました。これに対し受彰者を代表して、渡部健一氏（ベンケイ綿綸）から「本日、栄誉ある表彰を受けるこ

とができたのも、事業主をはじめ職場の同僚等の深いご理解があればこそであり、今後も初心を忘れず、尚一層の努力を重ねて参ります。」と謝辞が述べられました。当日の受彰者は次の通りです。

※敬称略、勤続三十年以上、二十年以上、十年以上については代表者のみ掲載。

◎勤続四十年以上

・四事業所六名

齋藤 隆（ベンケイ綿綸）

渡部健一（〃）

鈴木勝昭（㈱フラインホーム函館支店）

工藤秀雄（㈲藤井建具製作所）

苗島外次（㈲五島軒）

鈴木武彦（〃）

◎勤続三十年以上

・二十五事業所四十八名

代表 福井勝雄（㈲藤井建具製作所）

◎勤続二十年以上

・三十三事業所六十八名

代表 菊地てる枝（富国生命保険

相互会社函館支社）

◎勤続十年以上

・四十一事業所八十六名

代表 浜島由美子

（洋装のふたぐち）

71年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話(03)3946-0531 <代表>

<発明相談> 1月20日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所相談課(23-1181内線63番)にお申込み下さい。

テクノポリス第2期計画を支援 本所六部会開催

(財)テクノポリス函館技術振興協会基金の寄付協力方について協議するため、去る十一月十日の工業部会(所属議員)を皮切りに、全部会が二十七日までの間に、それぞれ開催されました。

ご承知のとおり、当地域が昭和五十九年テクノポリスの指定を受け、その第一期計画では、地場企業の技術水準の高度化、新製品の開発、先端技術をもつ企業の誘致、そして中心となる研究技術指導機関としての道立工業技術センター建設など各種事業の展開により、着実な成果が得られましたが、これを更に飛躍発展させるため、第二期計画が策定されました。

その骨子は、(一)財団事業の拡充、(二)道立工業技術センターの拡充強化、(三)シンボルゾーンの形成であります。これを推進するため財団の運営基金を六億円積み増しすることとなり、その内、民間分

一億七千四百万円については地元経済とりわけ本所の全面的な支援を得て達成させることとなりました。

本年の見直しに向け 新幹線陳情が活発化

整備新幹線については、昭和六十三年八月の政府・自由民主党の申し合わせにより順次着工されてきましたが、この申し合わせは五年後の本年、見直されることとなっており、未だ着工が決定していない北海道新幹線にとつては、この機会にぜひとも着工を決定しなければならぬことから、数多くの陳情を実施してきましたが、地元としては東北新幹線の青森開業時における当面函館までの同時開業に向けて、関係者方面と、昨年末には強力な陳情活動を行いました。

これを受けて、財団、市、そして本所で協議してきた試案をもとに各部会での協議をお願いすることとなり、各部会を開催したものです。

なお、本所議員そして会員各位には本趣旨をご理解賜わり、財団基金の募集に積極的にご協力下さるようお願い申し上げます。

◎「青森・函館ツインシティ推進協議会中央陳情」
(平成四年十一月二十五日)

◎「北海道新幹線建設促進期成会と道選出国会議員との懇談会」
◎「北海道新幹線建設促進期成会第三回中央陳情」
(平成四年十二月十七日)

◎「三道県(北海道・青森・岩手県)による東北新幹線・北海道新幹線建設促進総決起大会」
◎「整備新幹線建設促進全国総決起大会」
(平成四年十二月十八日)

青函ツインシティ 推進協開催

平成元年の青森・函館両市のツインシティ提携に伴い、文化・スポーツ・観光・経済等幅広い分野の交流事業を推進し、両地域の活性化と一体的な発展を図ることを目的とした「青森・函館ツインシティ推進協議会」が、去る十一月二十六日、青森市のホテル青森において開催されました。

当日は、函館側から丹藤助役、小笠原副会頭、青森側からは佐々木市長、沼田会頭など、委員・顧問三十余名が出席しました。

会議では、始めに今年度会長の佐々木青森市長より開会挨拶がなされ、引続き同市長が議長となり、議案の審議を行いました。

審議では、部会運営要領、協議会規約等の一部改正を先ず承認、続いて青森・函館ツインシティ交流事業三カ年(平成五〜七年度)計画について、慎重かつ活発な意見交換の後、原案どおり承認、新しい三カ年計画が決定しました。

トンネル開通後の流動動向等をふまえて 青函圏特別委員会合同委員会開催

函館・青森両商工会議所の青函圏特別委員会の平成四年度合同委員会が、去る十二月十日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催されました。

当日は、本所側からは若林会頭、柳沢委員長始め十二名の委員、また、青森側からは沼田会頭のほか中山委員長始め七名の委員が出席しました。

会議では、函館側の柳沢委員長が座長となり、(一)青函トンネル開業前後の流動動向の変化、(二)函館とユジノサハリンスク国際定期便の就航決定及び青森とソウル国際定期便の開設、(三)青函共通ブランドの創出、(四)青函グルメサミット等の議題について活発な意見交換が行われ、また、東北・北海道新幹線の早期実現についての決議が満場一致でなされました。

青函トンネル開業前後の流動動向の変化については、交通、観光

客入込数、宿泊施設等に関する比較検討により、この六年間の変化について認識を新たにしました。

国際定期便については、函館側からは去る十一月二十七日、日本

・ロシア航空当局間協議により、函館とユジノサハリンスク国際定期便の平成六年四月就航が決定、今後、C I Q体制の整備などが急

がれる旨の説明がなされる一方、青森側からは青森とソウル国際定期便開設に向けての積極的な取組

状況について説明がなされました。青函共通ブランドの創出については、両市菓子業界が中心となり

交流を深めてきましたが、両者から検討委員を選出、共通ブランドによる菓子の実現に向け問題点等を

解明していくことになりました。また、郷土料理を通じて地域振興を図るべく、平成五年二月十二日に「青函グルメサミット」を青森市において開催することを決定

しました。

さらに、政府・自由民主党による整備新幹線の取扱いの見直し、平成五年夏頃に予定されていることから、東北新幹線(盛岡・青森間)の全線フル規格での早期竣工と、青森開業時における函館までの同時開業を決議し、今後の運動を強力に進めていくことを確認し、議事を終えました。

続いて、日本中国料理調理士会函館支部長の夏伐弘治氏を招き、「調理場から見た函館のグルメ今昔(中国料理の歴史)」と題して、函館が中国料理の盛んな街となった歴史的背景や、調理場からの苦労話など、楽しい講話をいただきました。

会議終了後、懇親会が開催され、新幹線問題やグルメサミットなどが話題となり、青函双方の理解度を深めることが出来、有意義な合同委員会となりました。

なお、本合同委員会に先立ち、十二月二日には、函館側の青函圏特別委員会が本所会議室で開催され、合同委員会提出議題等についての協議が行われました。

謹賀新年

今年もよろしくお願ひ
申し上げます。

〒041 函館市西桔梗町589番地25 函館市中央卸売市場内



函館青果物商業協同組合

理事長 小笠原 孝 TEL (0138) 代表 49-5511 番
購買部 49-4329 番
FAX 49-5513 番

事務局日誌

11月



*** 正副会頭会議**

- 4(水) 第26回正副会頭会議
- 18(水) 第27回正副会頭会議
- 30(月) 第28回正副会頭会議

*** 常議員会**

- 18(水) 第5回常議員会

*** 部会**

- 10(水) 工業部会正副部会長会議、工業(議員)部会
- 17(水) 運輸港湾(議員)部会
- 19(木) 商業部会正副部会長会議、商業(議員)部会
- 20(金) 観光サービス部会正副部会長会議、観光サービス(議員)部会
- 26(日) 農水産部会正副部会長会議、農水産(議員)部会
- 27(金) 理財部会正副部会長会議、理財(議員)部会

*** 委員会**

- 13(金) 総務委員会

*** 会議(日商)**

- 5(水) 平成4年度商工調停士会
- 18(水) 第51回全国商工会議所業務・検定担当者会議
- 26(水) 平成4年度北海道ブロック中小企業相談所長会議
- 30(月) 平成4年度商工会議所貿易等証明業務担当者研修会

*** 会議(道商連)**

- 6(金) 商工会議所婦人会事務局担当者会議
- 12(木) 全道商工会議所補助員研修会
- 19(木) 平成4年度全道商工会議所中小商業活性化支援事業連絡会議

*** 総審査会**

- 12(水) 小企業等経営改善資金審査会
- 27(金) 小企業等経営改善資金審査会

*** 諸会議**

- 5(水) 函館経済団体協議会事務局会議
- 〃 所報「ともえ」新年号 No.137編集会議
- 6(金) 税務懇談会
- 〃 函館市十字街地域地区更新基本計画策定委員会
- 〃 五稜郭商店街振興組合との懇談会
- 9(月) 議員会役員会
- 〃 青函共通ブランド創出打合せ会議
- 10(水) 岡田新一設計事務所社長岡田新一氏との懇談
- 〃 函館地域雇用協議会・函館地域人材確保推進協議会
- 11(水) 北海道新幹線建設促進期成会平成4年度第4回幹事会
- 〃 大規模小売店舗における小売業の事業活動調整に関する法律に基づく意見聴取会議
- 12(木) テクノポリス函館企業立地説明会
- 13(金) カーボンシティ函館推進委員会
- 〃 札幌国税局長を囲む懇談会
- 16(月) 婦人会親睦委員会
- 〃 渡島支庁管内市町村長と商工会長会議
- 〃 箱館五稜郭祭実行委員会組織拡充強化に係る打合せ会議
- 17(火) 大規模小売店舗における小売業の事業活動調整に関する法律に基づく意見聴取会議
- 〃 函館梅東貿易協同組合臨時総会
- 19(水) 議員会役員会
- 〃 泊発電所見学会
- 〃 函館市公文書公開審査会
- 〃 雇用保険事務取扱説明会
- 〃 北海道フェアインワジャオストクに係る関係機関との協議
- 20(金) 桜井外治道議会議員道政報告会
- 24(火) 道商工観光部平成4年度経営指導員等研修(事例研究コース)
- 〃 (財)テクノポリス函館技術振興協会川田理事長との出陣金協力についての懇談
- 25(水) 函館地域特定中小企業集積活性化計画案検討会議
- 〃 青函共通ブランド創出打合わせ会議
- 〃 函館市競輪運営協議会

- 26(木) 平成4年度青森・函館ツインシティ推進協議会
- 〃 箱館五稜郭祭実行委員会組織拡充強化に係る打合せ会議
- 27(金) 議員会役員会
- 〃 北海道東北開発公庫秋間所長代理函館地域経済聞き取り調査
- 〃 函館市小売商業振興ビジョン中間報告に係る関係団体連絡会議

- 30(月) 観光アドバイザー会議

*** 講習・催物**

- 2(月) 第55回函館菊花会展覧会
- 6(金) 複式簿記講習会
- 9(月) マネジメントセミナー「C S顧客満足」
- 10(水) 法人の年末調整説明会
- 11(水) '92タックスフェア
- 〃 経営相談
- 13(金) 複式簿記講習会
- 18(水) 発明相談
- 19(木) 経営安定特別セミナー「資金繰り」実務のポイント
- 27(金) 法律相談

*** 刊行物**

- 所報「ともえ」11月号 No.136

*** 相談・診断**

- 金融 199 税務 16 経理 4 経営 23 労働 1
- 取引 0 その他 0 合計 243

*** 貸室**

- 13

*** 文書**

- 受信 175 発信 27

*** 陳情・要望**

- 5(水) 第10回渡島地域道政懇話会
- 〃 地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律に基づく函館圏の指定に関する陳情
- 〃 自由民主党本道選出国會議員と全道商工会議所会頭との政策懇談会
- 6(金) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会「丘珠空港の早期整備についての陳情」
- 11(水) 青森・ソウル国際定期便の開設について
- 25(水) 函館港利用促進協議会・東京方面企業訪問(ポートセールス)
- 〃 青森・函館ツインシティ推進協議会「北海道新幹線に係る陳情」
- 26(木) 平成4年度道路関係合同陳情

*** 検定・大会**

- 15(日) 簿記検定試験
- 29(日) 第16回そろばんコンクール記録会

*** 慶弔・その他**

- 1(日) 公認会計士齊藤暉事務所創設30周年記念祝賀会
- 3(水) 平成4年度函館市文化賞贈呈式
- 5(水) 読売新聞函館支局新築竣工式、竣工披露宴
- 6(金) 北海道新聞社創立50周年記念パーティー
- 〃 平成4年度函館市技能功労者表彰式、函館市中小企業永年勤続者表彰式
- 7(土) 函館機械金属造船工業協同組合連合会第2回優良技能者表彰、永年勤続優良従業員表彰式
- 10(水) 函館海洋気象台庁舎及び横津岳気象レーダー観測所竣工披露式典
- 〃 第7回郷土料理まつり
- 10(水)~13(金) 青函の翼(ソウル)
- 12(水) 平成4年度納税表彰式
- 15(日) N T T開基ニューメディア
- 16(月) 北海道日産化学㈱鈴木啓記顧問、関守代表取締役社長就任挨拶
- 17(水) 函館家具工業(協)平成4年度永年勤続優良従業員表彰式
- 18(水) 日本銀行函館支店石原正之支店長就任挨拶
- 20(金) 青森県議会議長(七戸商工会会長)小原文平氏表敬訪問
- 〃 登別伊達時代村一行表敬訪問
- 21(土) 南北北海道外洋帆走協会設立15周年記念祝賀会
- 24(水) 榎若松屋農業店創業30周年記念新社屋披露、落成感謝のつどい
- 〃 函館・ハリファックス市姉妹都市提携10周年、函館・ハリファックス協会設立5周年記念講演会、祝賀会
- 〃 第34回優良商工従業員表彰式
- 25(水) 第5回青函合同物産展ミスねぶた表敬訪問
- 27(金) 函館税関120周年記念式典、祝賀会
- 〃 北海道財務局長上野憲正氏表敬訪問
- 30(月) 白衛官募集相談員丹羽一夫氏庶務褒章受章お祝いの集い



事務局日誌

12月

* 正副会頭会議

21(月) 第29回正副会頭会議

* 総 会

4(金) 第4回臨時議員総会

* 委 員 会

- 2(木) 青函圏特別委員会
- 10(木) 青函商工会議所青函圏特別委員会合同会議
- 17(木) 国際交流委員会

* 会 議 (日 商)

14(月) 平成4年度外国人研修事業担当者研修会

* (株) 審 査 会

15(火) 小企業等経営改善資金審査会

* 諸 会 議

- 1(火) 渡島・松山地域雇用開発会議
- 2(木) 平成4年度第2回函館市中小企業振興審議会
- 3(木) 函館地域人材確保企業セミナー
 - 〃 (株)ジャックス山根会長との懇談
 - 〃 広中大学推進協議会、市、本所との三者事務打合せ
- 4(金) 議員会総会並びに歳末懇親会
- 5(土) 自由民主党北海道政経セミナー
- 9(木) 平成4年度道南ブロック労働時間短縮推進フォーラム
 - 〃 '93札幌国際見本市出展説明会
- 10(木) 四共済幹事会社事務担当者会議
 - 〃 (株)北洋銀行函館支店滝沢嘉一支店長との懇談
- 11(金) はこだて冬のイベント実行委員会企画・総務部会
 - 〃 函館・C I 推進の基本方針に関するインタビュー
- 14(月) 年金共済正副幹事会社との打合せ
 - 〃 北海道新幹線の署名運動に係る三者会議 (市、渡島支庁、本所)
- 15(火) 全日本空輸(株)河井札幌支店長と地元関係者との懇談会
 - 〃 函館販売士協会役員会
 - 〃 (財)テクノポリス函館技術振興協会技術審査会
- 18(金) 日本団体生命(株)北海道営業局北海道ウィズプラン協議会並びに北海道友和倶楽部大会
 - 〃 函館空港国際定期便就航に係る打合せ会議
- 21(月) 共済制度委託生命保険会社支社長との連絡会議
- 25(金) '93はこだて冬フェスティバル実行委員会

* 講 習 ・ 催 物

9(木) 経営相談

- 16(水) 青色申告決算説明会
- 21(月)~22(火) 企業見学会
- 25(金) 法律相談

* 相 談 ・ 診 断

金融 198 税務 33 経理 11 経営 68 労働 1
取引 0 その他 0 合計 311

* 貸 室 9

* 文 書 受信 128 発信 20

* 検 定 試 験

6(日) 第16回3級ワープロ検定試験

* 陳 情 ・ 要 望

- 3(木) (財)テクノポリス函館技術振興協会への出損金依頼 (札幌)
- 17(木) 北海道新幹線に関する懇談会
 - 〃 中小企業対策予算確保商工会議所全国大会
 - 〃 北海道新幹線建設促進期成会第3回中央陳情
- 18(金) 東北新幹線(盛岡・青森間)、北海道新幹線建設促進
三道県総決起大会
 - 〃 整備新幹線建設促進全国総決起大会

* 慶 弔 ・ そ の 他

- 3(木) 千代田生命保険(相)本社加藤常務理事表敬訪問
 - 〃 ニュージーランド国駐日全権大使 デイビット・K・マク
グウェル夫妻表敬訪問及び歓迎夕食会
 - 〃 本所常議員河村澤治氏の叙勲を祝う会
- 5(日) (株)二森屋クリスマスディナーパーティー
 - 〃 (社)函館市医師会官庁首席招待会
 - 〃 函館日口親善協会忘年会
- 7(月) 函館都心商店街振興組合大門歳末福引大売出し前夜祭
 - 〃 婦人会12月例会、クリスマスパーティー
- 9(水) (社)函館競馬場馬主協会平成4年度福祉財団
助成金目録贈呈式
 - 〃 本所議員豊山秋央氏勲五等瑞宝章受章祝賀会
- 10(木) 函館シンガポール協会クリスマスパーティー
- 11(金) 海上自衛隊函館基地隊司令井野和雄一佐転任挨拶
 - 〃 日本団体生命保険(株)北海道営業局鈴木部長表敬訪問
- 15(火) 全日本空輸(株)河井札幌支店長、北御門副支店長表敬訪問
- 18(金) 岩崎産業(株)ベイサイドゴルフセンター新築落成披露
 - 〃 フィンランド政府公認サンタクロス歓迎会
- 22(火) 協同組合異業種交流「ひょうたん」設立披露
- 24(木) 海上自衛隊函館基地隊渡邊秀樹氏着任挨拶
 - 〃 北海道東北開発公庫北海道支店長原達郎氏表敬訪問
 - 〃 はこだてFM放送局「FMいるか」社屋披露